

轍わだち

2022. 2. 12 NO. 141

# 「いいだて雪っ娘」のおはなし



♪坊や よい子だ ねんねしな♪今も昔も変わりなく♪  
母の恵みの子守歌♪ 違い音のものがたり♪

「むかしむかし、飯館という村では、働き者が多く、豊かな大地を耕しコメや野菜作りに精を出しておったとさ。ところがある日を境に、土地を耕す人も村にはいなくなり土地は荒れ放題になってしまった。村人らが避難先を求めて、てんでんばらばら散らばってしまったからだとさ。ある日の事、避難先の休耕田に、にわか作りした畑を見ると、固い土を押し上げ小さな芽が出ておらっしゃったと。なんと、飯館村特産の『いいだて雪っ娘』の芽が…」



## マンガ日本昔話風としてのおはなしはさてお

かぼちゃの美味しい時期ですが、店頭には国産のかぼちゃが少なくなりました。

「いいだて雪っ娘」は福島県飯館村の育種家が30年の歳月をかけて開発した寒さに強い、表皮が雪のように白い国産かぼちゃです。ブランド化して全国に販路を広げようとしていた矢先に東日本大震災と原発事故が起きたのです。そのため「種をつながなければいけない」そんな思いで、避難先でかぼちゃの栽培が続けられましたが、避難先では、耕作機器もなく手作業での重労働。それでも、種の販売までこぎつけ、全国各地の農家で栽培されるように。そして、ようやく飯館村へ戻れた日からは、消費者が安心して購入できるようにと、出荷の際の国が定めた放射性物質の基準値を独自に厳しく定めて出荷にこぎつけたとのことです。被災10年目…「いいだて雪っ娘」に励まされた福島の農家の人々は、諦めない覚悟をもって、厳しい寒さの中で農作業に打ち込んでいます。

## 11円募金活動は14日(月)です！ご協力をお願いします！

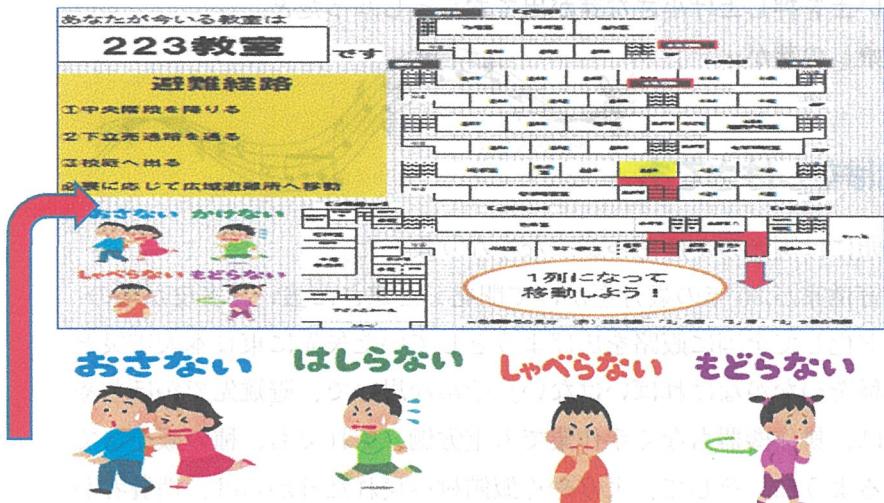
「被災地を忘れてほしくない」被災者の声にこたえ、「私にできることをしたい」そんな思いの一つとして11円募金活動を始めることにした際には募金の名称をめぐりずいぶん議論がわいたものです。「被災地応援募金」「3.11募金」「311円募金」「愛の募金」などなど…そして、誰もが出しやすい金額にしようということで「11円募金」となりました。当初は生徒や教職員のみの協力だった募金も、「継続は力」です。今は、近隣に通勤する方々や、生徒のご家族からもご協力が得られるようになりました。

毎月の募金額を集計する担当は、中学1年生の実行委員たちです。金額をポスターに書いて掲示を通して感謝の気持ちを伝えています。言い忘ましたが、募金は決して11円でなくてもいいのです！災害を忘れないことが、最良の防災につながります。その意味から引き続きご金活動にご協力ください。

# コロナ禍の校内における防災意識



(写真) 2019年9月実施の校内防災訓練の様子。中高生、教職員一同がグランドに集合し、消防署の方から講評を頂きました



各教室に掲示しある「避難経路」図。「お・は・し・も」を守って、

避難するときは、落ち着いて避難行動を取りましょう。また日頃から、避難経路の確認も怠らずおきましょう！！

## +α 活用できる「防災袋」に向けて

各HR教室に設置してある防災袋（マスク、軍手、ペットボトル500ml、飲料水、カロリーメイト）。体育や選択授業時などHRから離れた場所で被災した場合を考え、クラフBOXに防災袋を設置する予定です。

女性が避難時に限らず、もしもの時になくて困るのが生理用品。現在、生徒会が主体となって、校内常時設置に向けて、三者協議会を通して保護者会との協議を続けています。

## 未だ 収束の方向性が見えないコロナ禍

一方で、北海道、関東地方や、熊本県、宮崎県など九州南部、和歌山県等では震度3クラスの地震が起き、日本での自然災害への備えは必至です。

校内一斉、かつてのように防災訓練ができれば良いのですが、それも難しい今日の状況にあっては、生徒の皆さんには、日頃より「防災意識」を持ち、校内の避難経路図、防災袋の中身やAED設置場所などの確認を心がけて貰いたいです。そして、いざ避難時には、授業担当の先生の指示に従い、落ち着いて、避難できる心構えを持ちましょう。

